学校だより

大いちょう No.8

令和５年　９月１日発行
ひたちなか市立津田小学校
TEL　２７４－２０１０

経験が育む豊かな心

９月からの学校生活がはじまりました。記録的な暑さが続いた夏休みですが、健康的な生活を送っていたことが元気あふれる表情からも伝わります。夏休みで取り組んだ学習や作品を提出しながら思い出を語り合うなど、教室ににぎやかさが戻りました。今年度の夏休みは、地域のお祭りや催し物もあって、人との交流も盛んになり、様々な経験をした子も多かったのではないでしょうか。その中でも、津田コミュニティセンターでの自治会のお祭りや移動博物館は地域のエネルギーを感じる催し物でした。会場では、準備や運営にご尽力された地域の方や職員の方、そこに集った子ども達の笑顔に囲まれ、たくさんの保護者の方や子ども達から、「こんにちは」と声をかけていただいて、元気をもらいました。また、夏休み中には伝統文化クラブの特別練習が実施され、講師の先生方に指導をしていただきました。クラブの子ども達もとても熱心に練習に取り組み、日に日に上達していました。

夏休み前を振り返り、夏休みに経験したことも自分の力に生かせるように、落ち着いた学校生活への支援をしていきたいと思います。今後とも、保護者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

～　津田コミセンに展示された津田小の作品　～

児童・生徒会活動交流会「笑顔サミット」(8/4)

児童・生徒会活動交流会が、しあわせプラザで開催されました。

毎年、夏休みに実施される交流会では、ひたちなか市の小・中学校の代表児童・生徒が、それぞれの児童会・生徒会活動について情報交換をしながら交流しています。自校の取り組みを紹介し合うだけでなく協議を通して、夏休み明けの児童会活動の改善点や工夫点を見つけ、自校の児童会活動の充実につなげていきます。本校は、代表委員会の６年生２名が参加し、「相手を思いやる心を育てるために、どのような取り組みができるだろうか」について協議しました。

～　児童会活動の実践発表と協議の様子　～

救急救命講習会「心肺蘇生・AED 研修」(8/21)

「いばらき救命教育・AED プロジェクト」の研修会を全職員で受講しました。心臓のけいれんによる心停止には AED が必然です。「最初の５分以内」が救命につながることから、現場で AED を使用することや、小学生からも成人用の AED を使用することの説明を受け胸骨圧迫の実技と共に AED の使用法を学びました。大切な命を守りたいと強く思いました。

～　胸骨圧迫のリレーで命をつなぐ　～

心と体の切り替えはゆっくりと

９月１日は、熱中症対策として、オンライン朝会を行いました。「暑さ対策をして健康に気をつけ、学習や行事に取り組むこと」「お休みモードに慣れた心と体は、生活習慣を整えることで学校モードに切り替わること」など、校長や養護教諭からの話をしっかり聞いていました。長期休業明けは不安を抱える子が増える時期ですので、子ども達一人一人のペースにあわせた声かけや支援に一層努めてまいります。ご家庭では「早寝・早起き・朝ご飯」、お子様との会話を通して、心と体の健康を支えていただきますようお願いいたします。

～　登校の様子　オンライン朝会の様子　～

９月１日は「防災の日」

関東大震災から１００年の節目の年。いつ起こるかわからない災害への備えが必要です。周りに大人がいないときでも、自ら身を守る行動をとり、安全を確認しながら、避難場所に移動できるように、本校では９月８日に避難訓練を行います。暑さ指数によっては、室内での安全指導を行います。